

これからも愛される施設に



今回の改修では、所沢の文化の殿堂として、音響などの性能の確保が大きな課題でした。特に大ホールでは、以前から高い評価を得ている音響を維持するため、張り替えではなく国に認定された工法で天井を補強。この工法を使っているのは、東京都港区のサントリーホールとミューズだけです。生まれ変わったミューズで、素晴らしい音楽や芸術を楽しんでください。

所沢市長 藤本正人



©ND CHOW

ミューズのリニューアルを記念するコンサートで、ショパンとチャイコフスキーの2曲のピアノ協奏曲を演奏させていただきました。心からうれしく思っております。

今回の改修で安全・安心に、そして人に優しいホールになったとお聞きしました。ミューズの素晴らしい音がホールに来られる皆様の心に、優しく深く、そして熱く響きますように…。

ピアニスト 小山実稚恵さん

ミューズが誇る3つのホール



大ホール (アークホール)

オーストリアの名門、リーガー社製の日本最大級のパイプオルガンを備えたホール。名高い音楽家からもお墨付きを得ています。設計は靴箱型で、クラシックに最適な最高の音質と音響に包み込まれます(2,002席)。

パイプオルガンの改修には、多くの皆さんからいただいた「ふるさと応援寄附金」も活用し、オーバーホール(楽器を解体し、点検・補修などを行う大掛かりなメンテナンス)や耐震化が実現しました。ミューズを象徴する大ホールのパイプオルガン。豊かな音色を再びお楽しみください。



パイプオルガンには5,563本のパイプが使われているよ!



日本最大級のパイプオルガンの音色を聴きにきてね♪



中ホール (マーキーホール)

上から見ると馬のひづめの形を模した演劇ホール。充実した音響・照明設備がミュージカルやバレエなど、あらゆる演目の魅力を余すところなく伝えます(798席)。



小ホール (キューブホール)

サロン風のホールは、舞台と客席の一体感が楽しめるワンスロープ形式を採用。公演を間近で体験できます。室内楽の演奏会、小規模な集いや講演会などに利用されています(318席)。



休館中、お待ちいただいた皆さんの期待に応えるべく再び動き出す市民文化センターミューズ。これからも、音楽や演劇など新たな感動との出会いの場として、また、市民や学校、文化活動団体の発表など、文化活動を通じた人のつながりや地域の活性化に貢献できる場として、今まで以上に愛され親しまれる施設を目指します。皆様のご来場をお待ちしています。

リニューアルを一緒に祝おう!

記念イベントも続々決定! 生まれ変わったミューズの門出を、一緒にお祝いしませんか?

◎チケットの購入方法などの詳細はミューズホームページをご覧ください。



Pick up!

- ◆ 小山実稚恵 (ピアノ) 華麗なるコンチェルトの世界
- 4月11日(土)午後3時開演
- ◆ 森山良子コンサートツアー
- 7月11日(土)午後4時開演

